

滋賀県障害者技能競技大会 ビルクリーニング競技課題

一般的な注意事項

「共通事項」

1. 課題は、課題1:カーペット床清掃と課題2:弾性床清掃及び机上清掃の2課題です。
2. 競技の順番は、事務局において事前に抽選し、大会ホームページに掲載します。
3. 2課題とも制限時間が定められています。
課題1:標準時間7分、制限時間は8分とします。
課題2:標準時間10分、制限時間は12分とします。
4. 使用する資機材は支給されたもの以外使用できません。
5. 競技採点は、作業準備、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査します。
6. 作業に適した服装で競技を行ってください。
7. 各課題とも、作業開始の指示は競技委員が行います。選手は、挙手または「始めます」と申告して2コート同時にスタートしてください。
競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。競技中は上記以外の声は出さないでください。
※始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。
8. 課題において、イスを机の上に上げる際は、安全に配慮した形で上に上げてください。
9. 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は2コートの選手が終了した段階で順次発表しますので、先に作業を終了した選手はスタートラインに戻り、すべての選手が終了するまで、そのまま待機してください。

課題1:カーペット床清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画とします。
2. タイルカーペット床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断した紙くずで50ml程度をまいたものとします。
4. 幅木の上には壁があるものとし作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

課題2:弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画とします。
2. 床材は塩化ビニール系床材もしくはフローリングとなります。
3. 床面の除塵・拭き・ゴミ処理及び机上拭き作業です。

4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるので、不足がないかを点検してください。
5. モップの柄は、長さ調整出来るので、作業前に自分にあった長さに調整してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けてください。
7. 床のゴミは「おが屑」とし、50 ml程度をまいたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとし作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

資機材一覧

1. 競技会場に準備されているもの

課題1

品名	寸法及び規格	数量
真空掃除機	ポット型リンレイ RD エコ2	1 台
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚
ゴミ箱	角型	1 個
作業表示板		

課題2

品名	寸法及び規格	数量
作業カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台
作業表示板		1 個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本
ラッグ(モップ房)	260g 白色	1 個
小型ぼうき	30cm幅用	1 本
乾式モップヘッド	63cm	1 個
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個
タオル	無地 水拭き用(青色)1 枚 無地 から拭き用(白色)1 枚	2 枚
ダスタークロス	60cm幅の不織布	1 枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1 枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚
ゴミ箱	角型	1 個

2. 選手が持参するもの

品名	寸法及び規格	数量
作業着(上下)	動きやすい服装	1 着
作業帽又は三角巾		1 個
作業靴		1 足
飲料	適宜、水分補給をし、熱中症対策をすること	必要量

3. 作業の仕様

課題1 カーペット床清掃(作業時間:7分 制限時間:8 分)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 ・真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 ・作業表示板はすでに所定の位置に立ててある。	・必要な資機材及び数量は資機材一覧を参照すること。 ・資機材を点検し、不足があれば申し出る。	・資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	・競技委員の合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	・片手を挙げ、一礼する。	・作業開始を申告する。 ・声が出せない場合は出さなくてもよい。
作業準備	・真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	・吸込口に手をあて、吸込み確認をする。	
入室の挨拶	・入り口にて室内に向かって入室の挨拶をする。	・「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 (真空掃除機)	①真空掃除機を使用し、外から入り口を除塵し、入室する。 ②室内での作業手順はカーペット床作業手順を参考に行う。 ③ゴミ箱は持ち上げて除塵する。 ④前進しながら除塵する。 ⑤作業が終了したら掃除機を	・入り口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 ・吸込口を床に強く押しつけない。 ・イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。	・ゴミはシュレッダーで裁断したものを 50 ml 程度均等にまいてある。 ・掃除機のコードを持って抜かない。

	室内より出してプラグを抜く。	・掃除機本体は手で持って移動する。 ・プラグを持って抜く。	
点検	・指差しまたは目視による点検を行う。	・資機材の戻し忘れ、ゴミの取り残しがないか点検する。	・声は出さないこと。
退室の挨拶	・出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	・「失礼いたしました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	・真空掃除機のコードを巻き、真空掃除機を保管場所に戻す。		
終了の挨拶	・所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	・片手を挙げ、「終わりました」等の意思表示を行う。	・作業終了を申告する。

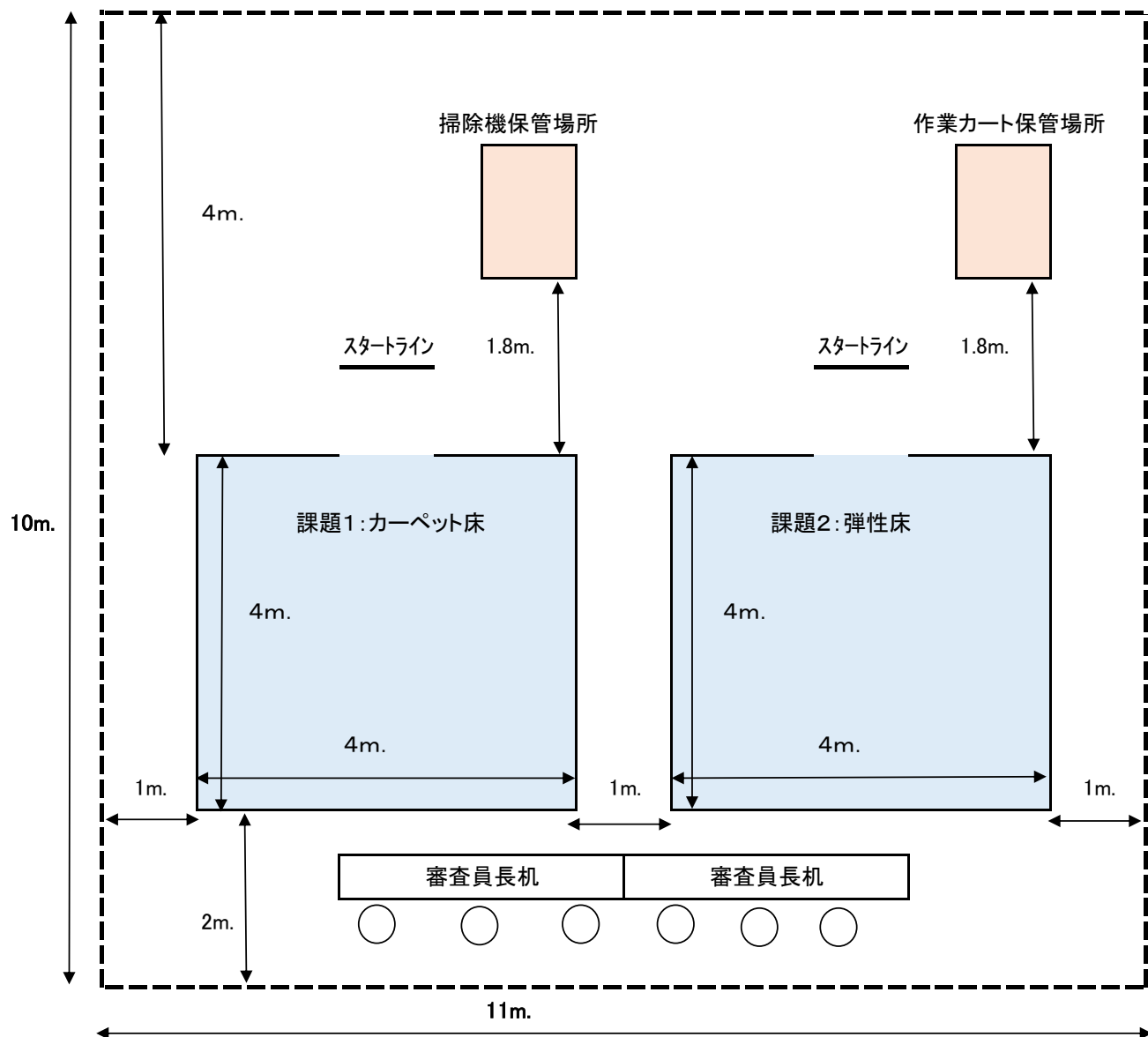
課題2 弾性床清掃及び机上清掃(作業時間:10分 制限時間 12分)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材(タオル・モップ等)は、すでに作業カートに準備されている。 ①ワンタッチモップ柄の長さを調整し、カートの所定の場所へセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着し、カート上部に置く。	・必要な資機材及び数量は資機材一覧を参照すること。 ・資機材を点検し、不備があれば申し出る。	・資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	・所定の位置に立ち、競技委員の合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	・片手を挙げ、一礼する。	・作業開始を申告する。 ・声が出せない場合は出さなくてもよい。
作業準備	・カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。		
入室の挨拶	・入り口にて室内に向かって入室の挨拶を行う。	・「失礼します」と一礼して入室する。	

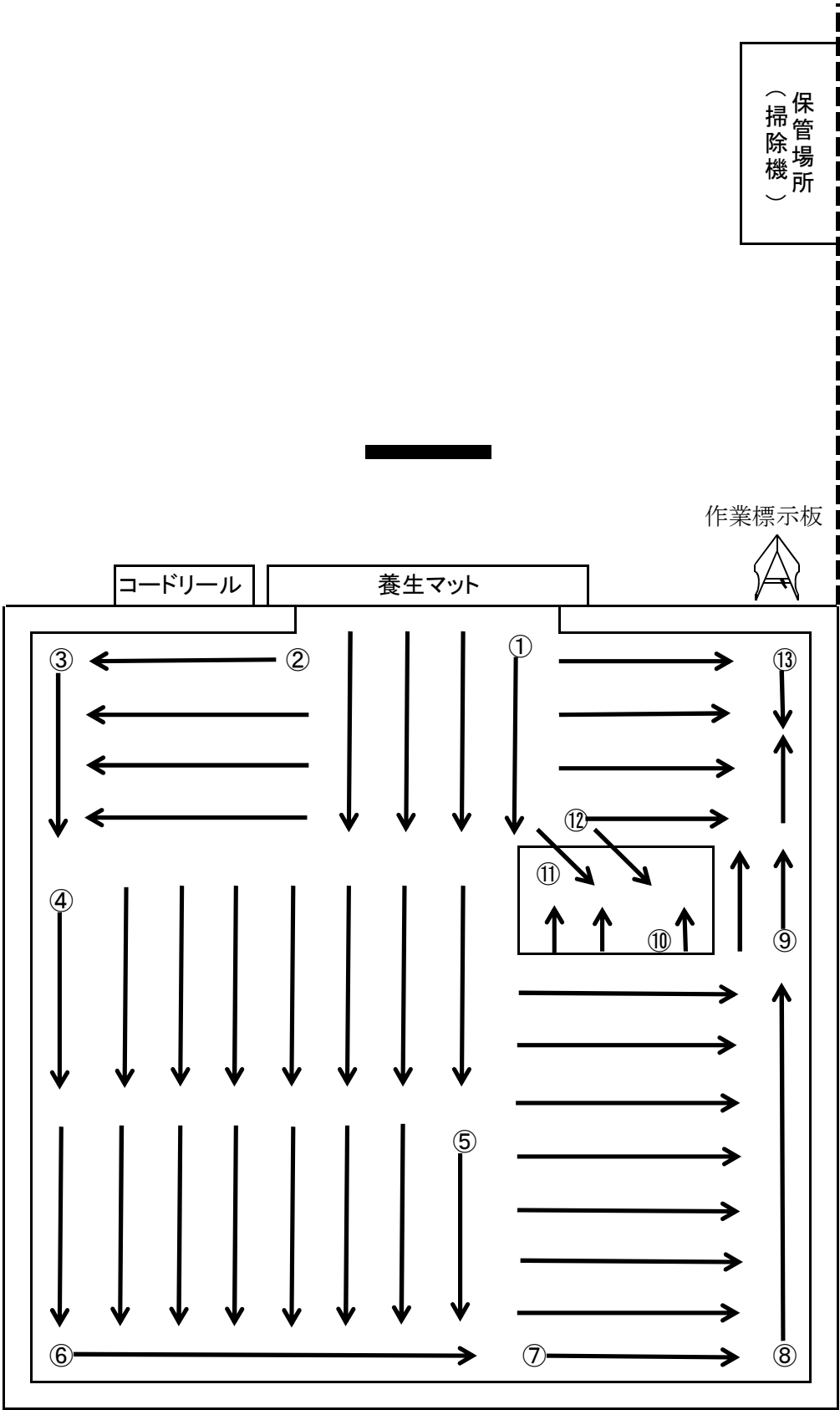
イス上げとゴミ処理 1)イスを上げる 2)ゴミの回収 3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上に上げる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと回収し、カートのゴミ袋に入れる。 ③スペアのゴミ袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ④ゴミ箱を机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロスを着着した乾式モップヘッドは入り口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。 ②乾式モップで、外から入り口を除塵し、入室する。 ③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順を参考に行う。 ④ゴミは前進しながら出口に向かって一か所に集める。 ⑤モップヘッドを柄から外す。 ⑥使用済みのダスタークロスはモップヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。 ⑦柄とモップヘッドをカートに戻す。 ⑧小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたゴミを回収する。 ⑨ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑩小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。	・柄の先端には親指を添える。 ・モップヘッドの辺は広いほうを先行させる。 ・入り口のゴミを踏まないように足場を確保する。 ・モップヘッドは床から離さない ・使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。 ・モップヘッドはカート上部にスポンジ面を上にして置く。	・ゴミはおがくずを50 ml程度均等にまいてある。 ・点検の際に声を出さないこと。
水拭き作業 (モップ)	①コート全体を拭く。 ②室内での作業手順は水拭きモップ作業手順を参考に行う。	・拭き残し、拭きムラのないようにする。 ・柄の先端には親指を添える。	

	③コーナー周りと机の足元はラージに手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・房糸が幅木、机の脚に触れないようにする ・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイス下ろし	・安全に音を立てないように下ろす。	・足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折りにする。 ②机上拭き作業手順を参考に机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。	・拭き残し、拭きムラのないようにする。 ・タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。	
点検	・指差しまたは、目視点検を行う。	・資機材の戻し忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	・点検の際に声を出さないこと。
退室の挨拶	・出口にて室内に向かって体質の挨拶を行う。	・「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	・作業標示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
終了の挨拶	・所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	・片手を挙げ、「終わりました」等の意思表示を行う。	・作業終了を申告する。

滋賀県障害者技能競技大会 ビルクリーニング競技 会場図面

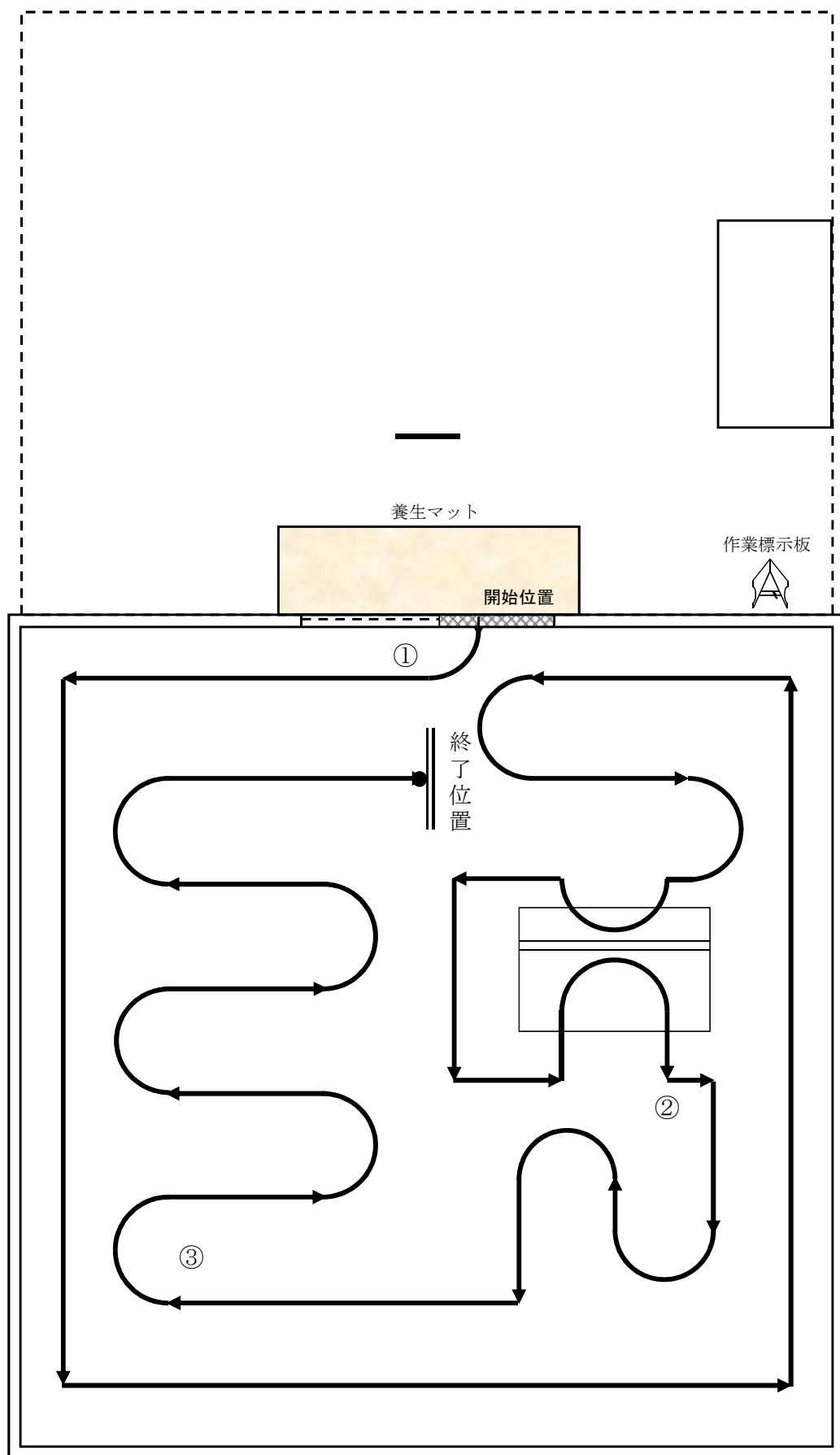


(参考)カーペット床作業手順



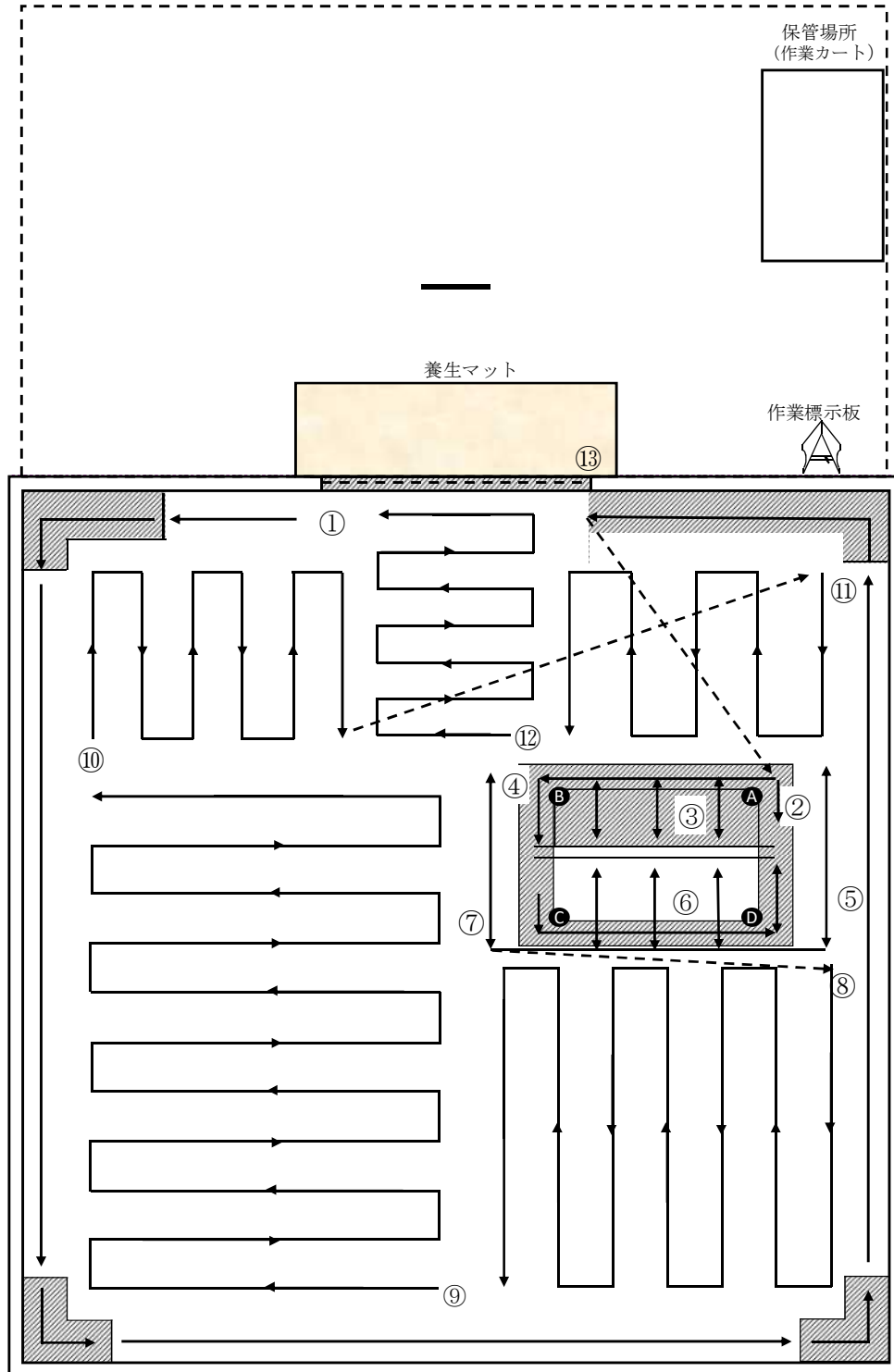
注: 作業の進行は①～⑬、吸引回数を入れたものではありません。

(参考) 乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません

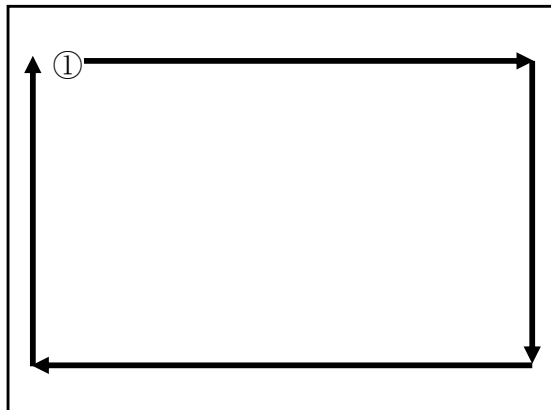
(参考) 水拭きモップ作業手順



注： 印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

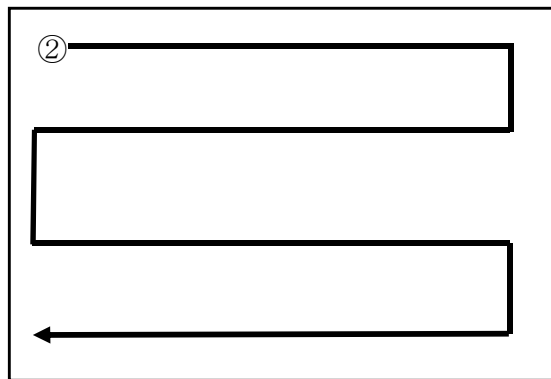
- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

(参考) 机上拭き作業手順 **注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。**



縁(机の4辺)の拭き方

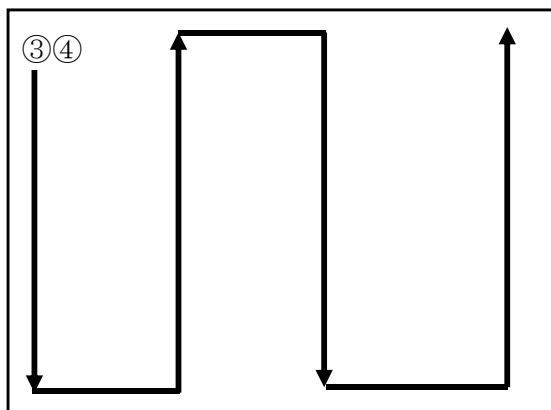
①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。